

鎌倉市民文化祭 2024 参加

第三十一回公演

謡曲と仕舞のつどい

日時 令和六年十一月八日(金)

午前十時開場 十時三十分開演

於 鎌倉生涯学習センターホール

主催 鎌倉謡曲連盟

後援 鎌倉市文化協会



鎌倉謡曲連盟 加盟団体

観世流 桜柳会・湘謳会・長謡会

白謡会・葉山町観世流謡曲会・睦会

【お問合せ先】

理事長 大久保 美武

電話 (0467) 531-9737

理事長挨拶

大久保 美武

素 謡

市瀬 美津江

卷 絹 谷口 一枝 川勝 暉生

小山美代子
木村 紀征
大久保美武
後閑 延夫
市橋 正之

桜柳会

素 謡

前川 鶴子

葵 上 高橋 徹 伊藤 武男 内山 公平

鈴木 幸江
磯崎 洋子
中谷 哲夫
福井 玲子
小山美代子

湘謳会

仕 舞

芦 刈 山口 健次

俊成忠度 中尾 操

山 姥 キリ 御園生佳彌子 佐

森 庸一
姥沢 賢
山口 健次
平戸 仁英
北島 大靖
小林 宏三

白謡会

素 謡

成経 藤田 弘子
康頼 高木 直美

俊 寛 佐藤 峻輔 高木 了二

大平かすみ 川勝 暉生
後閑 延夫 小竹 孝之
大久保美武 小川 惠也
谷口 一枝 坂東 輝夫

長謡会

三井寺

クリ・サシ・クセ省略

高梨 厚子

若松 容子

後閑 延夫

森本 司

小谷部直子
大久保美武
高橋 徹
井上 馨
小山美代子

素謡

葉山町
観世流謡曲会

仕舞

耶 鄂

楽跡

福井 玲子

楊 貴妃

松岡恵美子

北島 大靖
小竹 孝之
坂東 輝夫

長謡会

山 姥

クセ

灰原宇多子

仕舞

井 筒

キリ

鈴木 幸江

三井寺

鐘の段

小山美代子

内山 公平
中谷 哲夫
伊藤 武男
高橋 徹

湘謳会

連吟

熊 坂

堤 美代子

鈴木 紀子

北島 大靖

森 庸一
姥沢 賢
山口 健次
小林 宏三

白謡会

素 謡

猩 々 大久保 美武 磯崎 洋子

川勝 暉生
北島 大靖
後閑 延夫

理事 会

終演予定 15時20分頃

素謡解説

〔卷 絹〕

千足の巻絹を三熊野に納めよとの宣旨を受け、諸国の絹を集める。
男は巻絹を納める途中音無の天神に参り、梅を見和歌を詠んだりしたので日限に遅れた。
そこで勅使はその科を責めて縛める。すると、音無の天神が現れ此の男は歌を私に手向けた
者だから縄を解いて下さいと頼む。そして縄を解いてやり、なお歌の徳について語った。

〔葵 上〕

源氏物語「葵」の巻より取材。

源氏の愛を失った六條の御息所の怨霊は鬼女となり葵上にたたりをなそうとする。
が、行者の加持祈祷に祈り伏せられる。

〔俊 寛〕

流人となった平判官康頼、丹波少将成経、僧俊寛は中宮安産のための大赦が行はれその赦
免状を確認する。が、俊寛の名はなく、一人鬼界が島に残される。悲劇的な曲。

〔三井寺〕

行方不明の我が子を訪ねる女が、名月の三井寺で会うと云う狂女物。
三井寺は大津市の「園城寺」として有名で、晚鐘は近江八景の一つとされ平等院や神護寺の
鐘と共に日本三名鐘に数えられ三井寺の名は、寺内から湧き出る霊水が、天智、天武、持統
の三帝の産湯に用いられた事から「御井（みい）の寺」と呼ばれた。

〔猩 々〕

唐土かね金山のふもとの里に住む高風は市で酒売りをしてゐる親孝行な青年。
市毎に酒を飲みにくる者がありいくら飲んででも平気なので名を訊ねると海中に住む猩々だと
云って立ち去った。猩々は高風に不老長寿の薬、くめども盡きず飲めども変わらぬ酒を与え
るのであった